

第2回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会
議事録

日時：平成23年5月20日 15時～17時

場所：建築会館 307号室

出席者：高田（委員長：横浜国大），中村（幹事：篠塚研究所），新谷（福井大），大嶋（千代田アドバンスト・ソリューションズ），大谷（IHI），境（ハザマ），服部（東急建設），村地（構造計画研究所），成田（馬場代理：日本上下水道設計），静間（篠塚研究所）（敬称略）計10名

議事内容

1. 話題提供 「能登半島地震，新潟県中越沖地震の被害について」

新谷委員（福井大）より、能登半島地震および新潟県中越沖地震における土構造物、道路、産業施設、医療施設などの被害および復旧状況について報告があった。なお、同報告は、「能登半島および中越沖地震による地場産業等の被害とその復興に関する臨時調査分科会（2007年4月～2009年3月）」でまとめられた成果に基づいたものである。

2. 話題提供 「地震後のシステム性能の評価事例」

静間委員（篠塚研究所）より、システム構成する各要素の性能を考慮した地震後の復旧曲線の評価手法について説明があった。また、同手法を信濃川左岸地区農業用水路の配水機能および川崎市の鉄道旅客輸送機能にそれぞれ適用したシナリオ地震後（十日町断層帯西部による地震、東京湾北部地震）の復旧曲線の数値シミュレーション例が示された。

配布資料

- 1) 新谷委員（福井大） 発表スライド
- 2) 静間委員（篠塚研究所） 発表スライド

今後の予定：次回は8月31日15:00～を予定。

以上